

審 議 経 過

No. 1

1. 開 会

2. 辞令書交付

- 各委員へ松本定教育長から委嘱状を交付
（委員の任期…平成30年6月1日～平成32年5月31日までの2か年）
- 教育長から挨拶

3. 委員紹介、委員長・副委員長選出

- 各委員（8名）より自己紹介
伊万里市図書館協議会規則第4条により委員長及び副委員長を互選
 - ・委員長：松尾 清 委員を選出
 - ・副委員長：木下 美幸委員を選出
- 委員長から挨拶

- 議長選出

伊万里市図書館協議会規則第5条により、会長が議長を務める
・議長：松尾 清 会長

4. 平成29年度事業報告について

- 事務局から説明後、質疑応答
（委員）県内の他の図書館では、平成29年度の貸出が前年度よりも増加しているが、その理由は。また、人口一人あたりの貸出冊数は。
（事務局）貸出が伸びた理由は分からないが、貸出が伸びた図書館は比較的小規模な図書館である。人口や蔵書冊数などの分母が少ない場合、少しの働きかけによって貸出が伸びることもある。当館でも色々な取組をやっているが、分母が大きいためなかなか反映されない現状がある。また、開館して3年ほどの新しい図書館があるが、こちらも新館のため貸出が伸びていると思われる。
また、伊万里市の人口一人あたりの貸出点数については、平成29年度は8.13点となっている。8点台が数年続いていたが、8.1点まで下がったのは久しぶり。今年度は8点を割らないように努力をしている。
（委員）参考までに、25年前の他県の図書館の資料を持ってきた。協議会資料の8ページに視察実績表があるが日本地図に表すと市民や利用者の方に分かりやすいのではないか。これほど視察の多い図書館はあまりないので、一つの案として提示した。また、協議会資料の9ページについて、図書館の大事な指標である蔵書冊数や年間資料費などを併せて書くことで、図書館の課題が目に見えやすくなるのではないか。なおかつ伊万里市民図書館の課題と目指すべき目標との関係がどうなのかということが分かるような資料があると良い。

(委員) 協議会の資料では貸出点数や利用者数など数しか分からない。委員の言われたように指標が見えるほうが良い。

(事務局) 今後はホームページでも指標や貸出点数などを掲載する予定である。今後の会議については、そのような資料を事前に準備できるようにしたい。

(委員) 資料の図書館の例では予約・リクエストを受けた場合に、どのような処理の仕方かということを経験で表している。市民がリクエストできることを知らない場合もあるので、リクエストサービスを知ってもらう上でも行政に分かってもらう上でも、実態が分かる資料があると良い。

(委員) 学校では学校図書館事務職員の勤務年数が3年である。3年であればなかなか人が育たない。当館の嘱託職員の勤務年数はどのくらいか。

(事務局) 非正規嘱託職員は1年ごとの更新で年限の定めはない。最長60歳までの雇用となる。臨時職員については、学校図書館事務職員と同じく3年の上限がある。3年働いた後は教育委員会では働くことができないことになっている。

(委員) 当館の嘱託職員が60歳まで働き続けられることは画期的なこと。経験を積んでいくことで司書としての力を発揮できる。学校図書館事務職員も全く同じことが言えるので、校長先生たちが発言をしていくことが大事ではないか。

(事務局) 学校図書館事務職員すらもない時代がとても長かった。そのような時代があって、ようやく1日6時間勤務という条件で配置されるようになった。教育総務課が管理しているので、学校図書館事務職員と市民図書館臨時職員の人事交流ができないかということについて以前話したことはある。

(事務局) この問題については、図書館側も重々承知している。しかし今後、非常勤職員についての雇用形態が見直され、会計年度任用職員となる予定である。これは同一労働・同一賃金の考え方に則ったものである。平成32年4月1日より開始予定であるため、現在、情報収集中である。

(委員) 『伊万里市の教育』に掲載されている地区別登録について。伊万里市が2台の自動車図書館で69か所巡回しているが、図書館から遠い地区においては利用が低い地区があるのではないかと思う。行政区ごとの市民一人あたりの貸出冊数を出せば、どの地区の利用が低いかが一目瞭然である。そうすれば、自動車図書館サービスをさらに重点的にやらなければならない地域や、分館を考える必要のある地区が分かるのではないか。

(事務局) 地区別登録者数だけではなく利用人数、貸出点数も統計をとっているのでも、集計すれば可能である。しかし、本館とぶっくんについては分けて出すべきではないかと考えている。ぶっくんについては、高齢者と学校に通っている子どもたちが主な利用となり、その中間世代の利用はかなり少ない。早速、数値を集計して、どのような傾向であるのか確認したい。

5. 平成30年度運営方針及び事業計画について

●事務局から説明後、質疑応答

(委員) 調べる学習コンクールについて詳しく知りたい。

(事務局) 全国コンクールの地域版であり応募点数によって全国コンクールへ推薦する作品数が決まる。提出については、用紙の大きさや枚数が決まっており、条件がいくつかある。応募締切は9月30日。

6. 図書館システム更新業務について

●事務局から説明後、質疑応答

(委員) 学校図書館電算化に伴って今年度中に学校に導入されるパソコンは、市民図書館とのネットワークが繋がる予定なのか。また、将来的に繋がるのか。

(事務局) 残念ながら市民図書館とは繋がっていない。ただ6年後、当館のシステム更新時には市内全ての学校図書館とのネットワーク化を見据えた計画を立てようという話をしている。

7. 意見交換

①図書館協議会委員の定数について

●事務局から説明

条例では10名以内と定めているが、現在の図書館協議会委員は8名で構成されている。地方交付税の措置もあることから、委員数を2名追加して10名にしようという話を前回の協議会時に諮り、承認を受けた。あと2名にはどのような方を選ぶのか、今後2年かけてさまざまな意見をもらいたい。ぜひ伊万里市に応じた人材を選びたいと考えている。

8. その他

次回の協議会は来年3月頃に計画。日程が決まり次第、委員に連絡。

9. 閉会